



●日程・内容は変更になる場合がございます

●第1回 <1月例会>

1月 30日 (火) 15:30~17:00

※2018 新春労使トップフォーラムとの共催

『本と出会い、言葉と出会う』

～「生きる」働く、そして「自分」を見つめ直す～

若松 英輔 氏

批評家・随筆家

働き方を変え、生産性を高める上で私たちがあらためて考えておきたいことは働くことは何か、自分にとってどのような意味を持っているのか、という問いです。それは自らの内面との対話でもあります。この対話を豊かにしてくれるものが数々の名著です。NHK・Eテレ番組「100分de名著」のゲスト解説者としても活躍される氏を迎え、内村鑑三の名著「代表的日本人」等を取り上げ、「本と出会い、言葉と出会う」大切さについて伺います。

●第2回 <2月例会>

2月 21日 (水) 12:00~14:00

『HRテックの持つ可能性』

～新しい人材管理と生産性向上～

松田 晋 氏

株式会社サイダス 代表取締役

AIやクラウドをはじめとした情報技術(IT)を活用し、教育、採用、配置、評価処遇など人事・労務管理にかかわる業務を支援する新しいサービスがHRテックです。米国を中心に市場が急速に伸びる一方、日本でも働き方改革の流れの中で生産性向上につながるものとして注目されています。この領域でいち早く事業を手掛け、数多くの企業で導入、運用実績を持つサイダス社の松田社長から、サービス開発の現状と今後の可能性についてご紹介いただきます。

●第3回 <3月例会>

3月 20日 (火) 12:00~14:00

『感性ポテンシャル思考で』

ビジネスを拓く』

村田 智明 氏

京都造形芸術大学
プロダクトデザイン客員教授

商品やサービスの企画にあたっては、誰に、何を訴求し、どんな共感を提供するかを考えることが重要です。この力を高める上では、人、モノ・コト、場が持っている「感性価値」について、6つの軸で見える化を行い、ターゲットの共感力を得る感性ポテンシャル思考が有効です。開発者自身が持っておきたいこの思考法について、実際のビジネスイノベーションや地方創生の支援事業に携わってきた氏より具体的に解説いただきます。

●第4回 <4月例会>

4月 18日 (水) 12:00~14:00

『“その日暮らし”の生き方と働き方』

小川 さやか 氏

立命館大学大学院
先端総合学術研究科 准教授

世界には、働くことに対して私たちとは異なる考え方や、観念を持った人々が織り成す様々な経済活動が存在しています。公式の統計には現れない「地下経済」の規模も今では無視できません。アフリカ・タンザニアに単身乗り込み、古着の行商を実際に経験した氏が見た現地の「見えない経済」の姿、そして、人々の「働き方」はどんなものだったのか。「もう一つの資本主義経済」の実状をご紹介します。

●第5回 <5月例会>

5月 23日 (水) 15:50~17:00

※ 年次総会特別講演との共催

『企業変革とダークサイドスキル』

木村 尚敬 氏

経営共創基盤 パートナー・
取締役マネージングディレクター

ビジネスを成長させ、事業・組織を変革していくためには、自社事業の現状、市場、顧客についてのリアルな理解に基づいた戦略と実行計画が不可欠です。さらに、それにも増して重要なことは、困難な状況にひるむことなく、計画をしたたかに実践に移し、結果を出していく現場のリーダーの存在です。数々の事業再生、改革プロジェクトに携わった氏から、改革を成し遂げる上で身に付けたい能力について解説いただきます。

●第6回 <6月例会>

6月 22日 (金) 12:00~14:00

『普段の仕事に活かす経営学』

佐々木 圭吾 氏

東京理科大学 専門職大学院
教授

組織、企業は解決すべき数多くの経営課題を常に持った存在であると言えます。課題の解決にあたっては、事象についての構造的な把握、的確な分析が必要であり、これが有効な打ち手を検討していく上での土台となります。この際に、様々な経営理論や分析ツールを実際にどのように活用すれば良いのか。経営学を経営の現場、実務に役立てるための考え方について解説いただきます。



【プロフィール】

1968年 新潟県生まれ。
慶應義塾大学文学部仏文科卒業。

2007年「越知保夫とその時代 求道の文学」にて第14回三田文学新人賞 評論部門当選。「叡智の詩学-小林秀雄と井筒俊彦」(慶應義塾大学出版会)にて西脇順三郎学術賞を受賞。「生きる哲学」(文春新書)、「イエス伝」(中央公論新社)、「生きていくうえで、かけがえのないこと」、「言葉の贈り物」、「言葉の羅針盤」(ともに亜紀書房)、「代表的日本人 -永遠の今を生きる者たち-内村鑑三」(NHK 100分de名著ボックス)他 著書多数。



【プロフィール】

大塚商会入社。その後、人事や組織に関するコンサルティング事業を主力に据えた会社の設立を経て、人材情報を定量化するためのアセスメントツールの必要性を感じて単身渡米し、最先端のタレントマネジメントシステムを研究。2011年、株式会社サイダスを設立。日本の企業に適した独自のタレントマネジメントシステムを開発。仕様書を一から自分で書き、ユーザー目線にこだわって開発を進め、現製品の基盤ともなる最初のアプリを作り上げる。「スタートアップ列伝 ニッポンの明日を拓く30人」(日経BP社)にも取り上げられる。



【プロフィール】

1959年 鳥取県境港市生まれ。
1982年 大阪市立大学工学部
応用物理学科卒業。
1986年 株式会社ハーズ実験デザイン研究所を設立し、代表取締役。
プロダクトを中心に広範囲なデザイン活動を行い、Gマーク金賞をはじめ、DFAグランプリなど国内外で150点以上を受賞。オムロンの血圧計「スポーツアーム」やマイクロソフト「Xbox 360」などを手がけ、世界記録的な販売数を達成する。地域振興にデザインを活用したプロデュースにも数多く携わる。著書に『ソーシャルデザインの教科書』(生産性出版)、『問題解決に効く行為のデザイン思考法』(CCCメディアハウス)がある。



【プロフィール】

1978年 生まれ。
2007年 京都大学大学院アジア
アフリカ地域研究科指導認定退学、
2009年 博士(地域研究)。
日本学術振興会特別研究員、国立民族学博物館研究戦略センター機関研究員、同センター助教を経て、
2013年より現職。
主な著書、『都市を生きぬくための狭知タンザニアの零細商人マチングの民族誌』(世界思想社、2011年、第33回サントリー学芸賞)、『その日暮らし』(人類学-もう一つの資本主義経済)(光文社新書、2016年)



【プロフィール】

慶應義塾大学経済学部卒。
英国国立レスター大学経営大学院
修了(MBA)
ベンチャー企業経営の後、日本NCR、
タワーズペリン、ADLにおいて事業
戦略策定や経営管理体制の構築等の
案件に従事。
2007年 株式会社経営共創基盤 (IGPI)
参画後は、製造業を中心に全社経営改革
(事業再編・中長期戦略・管理体制整備・
財務戦略等)や事業強化(成長戦略・
新規事業開発・M&A等)など、
様々な戦略策定と実行支援を推進。
著書に「ダークサイドスキル」(日本経済
新聞出版社)2017年 など



【プロフィール】

1986年 九州大学経済学部卒業。
1986年 松下電器産業株式会社入社。
1991年 一橋大学大学院商学研究所入学
1996年 横浜市立大学商学部専任講師
2012年 東京理科大学専門職大学院
イノベーション研究科 教授
主要著書
『イキイキ働くための経営学』(共著)
翔泳社2016年
『みんなの経営学』日本経済新聞出版社
2013年
『今こそ出番 日本型技術経営』(共著)、
日本経済新聞出版社2011年
『経営理念とイノベーション』生産性
出版2011年
ほか多数